

Augmented Renal Clearance(ARC)発現を同定するためのスコアリングシステムの同定に関する研究

1. 研究の対象

2020.4～2024.3 の期間で救命 ICU に入室し、入室から 2 週間以内に実測クレアチニンクリアランス(CCr)の測定が行われた患者

以下に該当される患者は対象外:18 歳未満、血液浄化施行症例

2. 研究目的・方法

集中治療領域に入院される患者の中には、Augmented Renal Clearance(ARC)という、腎機能が通常よりも亢進している現象を発症することが知られています。ARC は、男性、若年者、敗血症や熱傷、外傷などがリスク因子とされており、腎臓によって排泄される薬剤の血中濃度の低下を引き起こし、治療効果を低下させる恐れがあります。そのため、ARC の把握は、薬物治療の適正化を行う上で重要となります。ARC の正確な把握には、畜尿という一定時間の間尿を溜めて検査に回すという行為を行いますが、これは、医療スタッフへの負担などの問題点があります。海外では、ARC を予測するためのスコアリングシステムが提唱されていますが、日本においてそのスコアリングシステムの有用性はわかっておらず、日本の患者における ARC を同定するスコアリングシステムの構築が望まれます。そこで今回、我々は、ARC を同定するためのスコアリングシステムについて調査を行うこととしました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:性別、年齢、身長、体重、入室時の SOFA スコア、体温、脈拍数、呼吸数又は PaCO₂、白血球数、血清クレアチニン、アルブミン値、入室契機となった疾患(敗血症、敗血症性ショック、感染症、外傷、頭部疾患、発熱性好中球減少症、術後、熱傷など)尿中クレアチニン値、尿量、カテコラミンの併用の有無など

試料:なし

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

研究責任者

りんくう総合医療センター 薬剤部門 深津 祥央

6. 個人情報の取り扱い

研究者対象者のプライバシーは厳重に守られ、また、その他人権に関わる事項についても十分な配慮がなされます。本研究の登録の際に氏名や住所は削除され、カルテ番号は、対応表を新たに作成し、個人情報の匿名化を行うため、研究対象者の名前や個人情報が特定・公開されることはありません。

また、対応表は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で研究関係者により院内で厳密に保管・管理をします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒598-8577 泉佐野市りんくう往来北 2-23

研究分担者：小林 洋平 (072-469-3111)

研究責任者：深津 祥央